



みんなの胸にしみる一日を…「メリークリスマス!!」



昨年の12月25日に、一年の締めくくりとしてみんなが楽しみにしているクリスマス会を開催しました。

ここ数年はコロナ過のため、事業所単位でのクリスマス会を開いていきましたが、今年は「久々に全体で集まって楽しもう!」と職員間で話が盛り上がり、今まで温めていた企画を持ち寄って内容を検討していきました。



会場は松原市にある「ゆめニティまつばら」さんにご協力いただき、当日は朝から会場内の飾り付けや、参加児童約75名分のケーキを調達したりと、職員は準備に大忙しでした。

全員が会場に集まった所で照明を薄暗くし、職員から「きよしこの夜」ハンドベル演奏を披露し、会場内はとても神聖な雰囲気になりましたが、そんな空気も一変、その後代表児童から「今からクリスマス会を始めます!」の掛け声で大きな歓声があ

がり、みんなのテンションもいきなりMAX!

続いては各事業所から出し物の披露です!

最初の事業所が「マジックショー」を披露してくれたことで皆の視線は舞台上に釘付けとなり、その後「エビカニックスダンス」や「きらきら星の合唱」、「ねこの医者さんの劇」が繰り広げられ、会場内は笑いとお歓声に包まれました。

そして締めには、この日のために練習を積み重ねてきた「ソーラン節」です!

法被も自分たちで作成し、練習の段階から挫折や励ましを繰り返すなど、紆余曲折ありながら本番に臨んでいる子どもたちの姿はとても胸を打たれるものがあり、客席の児童もその魅力に引き付けられて身体をうごかさずにはいられない…会場が一体感に包まれた瞬間でした。



その後もボランティアの方が扮したサンタさんとトナカイさんへの質問コーナーや、みんなで輪にな

2023年12月

ったプレゼントまわしで大喜び、ケーキを食べて一息ついた後は、この日のためにお呼びしたバンドメンバーによる☆きらりLIVE☆のスタートです!



「赤鼻のトナカイ」や「ジングルベル」等のクリスマス定番ソングから、「新時代」や「パプリカ」などみんなの大好きな曲も披露してくれ、児童もナプキンフラッグを持ってノリノリで踊るなど、本当にLIVE会場にいるような雰囲気で盛り上がり、終わった後も自然と児童から、「アンコール」の歓声が響き渡っていました。

クリスマス会が終わった後も、帰りの車内でももらったプレゼントをじっと眺めている子どもたちの様子を見て、「いつまでもクリスマス会の余韻にひたっていたい!」そんな表情に思えて、職員もみんなの心にしみるクリスマス会を開催できた満足感で胸がいっぱいになった一日でした